

笑顔あふれる未来のために



組合員の暮らしに役立つ事業と活動の担い手としての人材確保と育成は、重要です。笑顔あふれる未来の実現に向けて、人づくり・働きがいのある職場づくり・安心して働ける職場環境の整備・業務の効率化などに取り組んでいます。また、産地と消費をつなぐだけでなく、生産の現場に直接関わる取り組みもすすめています。

株式会社みんなの牧場

日本の酪農が衰退の一途をたどる中、私たちの食を支える産直産地の牛乳や牛肉の生産を維持するために、生産者・行政・生協などが共につくった牧場です。良質な牛乳の確保・安い和牛肉の提供・機械化による合理化をめざしています。

現在約420頭の作乳牛から毎日約12~13トンの生乳を生産、鳥取県内で生産された原乳とあわせて、コープしがの「生協牛乳120」として組合員に届いています。



ロータリーパーラー

株式会社ハートコープしが

コープしがと生産者が出資して設立した農福連携による雇用の創出と循環型社会の実現をめざして設立したコープしがの子会社です。リサイクル・グリーン部門では、オリコン洗浄やリサイクル品の加工、食品残さを利用したたい肥製造などを行っています。農業部門では、食品残さから作ったたい肥を利用して小松菜やほうれん草を栽培しています。



組合員の力を合わせて

「誰も取り残さない」SDGsの精神は、「募金」というカタチで組合員に広がっています。

募金 募金は、誰かのために「私にできるコト」です。1人の小さな力が大きな力となって、誰かの笑顔につながることを願います。

2019年組合員が取り組んだ募金

- ユニセフ募金
一般募金 2,766,487円(4,841人)
- ハンガー・フリー・ワールド
書き損じハガキ回収キャンペーン 3,896,047円(2,475人)
- 平和募金（ピースアクションinヒロシマ、県内戦争遺跡めぐり、沖縄戦跡・基地めぐり） 547,778円(1,044人)
- 東日本大震災復興支援募金（暮らし・地域復興応援募金）
（毎月11日の週） 889,885円(1,641人)
- NPT再検討会議被爆者活動支援募金 456,059円(843人)
- 緊急支援募金
 - ・2019年8月九州北部豪雨災害募金 1,775,153円(2,771人)
 - ・2019年台風15号千葉県災害募金 1,515,918円(2,384人)
 - ・2019年台風19号被害緊急支援募金 3,562,019円(4,395人)



©UNICEF/UN120414/Brown

商品を利用することで、誰かの笑顔につながるなら…

- 滋養応援寄付（1kg当たり1円）
・利用登録米の商品利用寄付 305,106円
- サンゴ再生もずく基金（産直恩納村もずく）（1点当たり1円）
美しい海の環境を守る運動・珊瑚再生事業寄付金 53,736円

全国の生協とともに取り組む募金

- CO・OPレッドカップキャンペーン 5,730,030円
- CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト 11,190,225円

働きがいのある職場づくり

私たちは、組合員のくらしづくりに貢献する使命をもっています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人財育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心を持ち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識を持ち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します



安心して働ける職場環境の実現

コープもりのこ保育園

働き続けられる環境づくりの一つとして、2018年7月に開園しました。家庭的な雰囲気のもと、生活や楽しい遊びを通して、子どもの豊かな人間性を育てています。



職員が関わり合い学び合う組織風土づくり

●実践事例報告会

1年間の仕事の中で、同僚や組合員との関わりから学んだことを、全職員で共有しています。

●コープしがカレッジ

協同組合に関わる人として、その役割を果たすために「人」や「コト」から学び、ものの見方・考え方を広げることを目的に開催しています。

●琵琶湖清掃ウォーク

組合員と職員が共に清掃活動を通して、琵琶湖の大切さを学ぶために開催しています。2019年は約500人が参加し、大津湖岸なぎさ公園を往復2キロにわたってごみを拾いながら歩きました。

●農産産直産地の職員研修

産直生産物の良さを学び、生産者の思いを知るために、実践しています。



コープカレッジ：テーマ「市場、流通の現状、将来展望と生協の課題」

職員の声

産地研修では、「食卓でおいしいと言ってもらえるように思っただけで、一番大事」という生産者の言葉がとても印象に残っています。生産者の思いを余すことなく組合員さんに伝え、生産者・組合員さんの笑顔の輪を増やしていきたいです。

長浜センター 中川 凌輔さん

